



お取引先様と考えるCSR

CSR調達を推進していくため、2012年に「CSR調達ガイドライン」を制定したミネベアグループ。
この考え方をどう広く浸透させ、どのように実践に移していくのか。
2012年4月26日にお取引先様とともに話し合いました。

はじめに— ミネベアのCSR調達方針

ミネベア(今仲) 本日はご参加いただきましてありがとうございます。ミネベアでは2年前にCSR推進室を立ち上げ、経営方針としてCSRを大いに推進していくと宣言いたしました。本日は第1回のサプライヤー・ダイアログということで、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴し、弊社のCSR全般の推進とCSR調達の発展に生かしていきたいと思っています。



ミネベア 今仲

ミネベア(岩谷) では最初に、当社のCSR調達の考え方についてご説明させていただきます。

企業の社会的責任とは、一企業だけで果たせるものではありません。CSR調達についても、お取引先様のご理解を得て、共に取り組んでいただく必要があります。

そこでミネベアでは2012年、お取引先様に向けて、従来のミネベアグループ行動規範をベースに、「労働」「安全衛生」「環境保全」「倫理的経営」の4題目29の項目から構成される「ミネベアグループCSR調達ガイドライン」を制定。また、これまで「法令の遵守」「オープンドア」「公平・公正」「グリーン調達」「機密保護」を掲げていた資材調達基本方針についても、新たに6項目目として「CSR調達」を加

えました。この2つを、5~6月にホームページに掲載するとともに、国内のお取引先様に配布する予定です。

また並行して、お取引先様にCSR調達についての自己評価をしていただく「CSR自己チェックシート」を作成する予定です。2013年4月以降に国内のお取引先様に配布を開始し、その結果を基に、2015年までに現状把握を進めたいと考えています。



ミネベア 岩谷

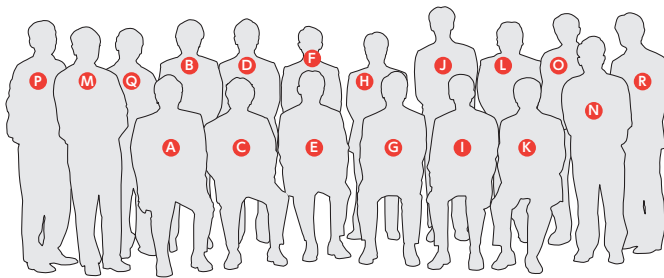
各社のCSR活動の現状

水上 では、お取引先様にも、それぞれ自社のCSR活動概要についてコメントいただけますでしょうか。

協同油脂(渡辺氏) 協同油脂では、潤滑油メーカーとして「トライボロジー(摩擦)精神の実践を通じて産業界に貢献する」ことを社会的責任の根幹と考えています。特にまだ「CSR」という枠組みでの活動はしていませんが、産業界と学術界の橋渡しとなるトライボロジー研究会の運営をはじめ、環境マネジメント、省エネ貢献製品、障がい者雇用、コンプライアンスなどの分野でも取り組みを進めています。

日亜化学工業(赤木氏) 私ども日亜化学工業は「勉強し

▶ サプライヤー・ダイアログ参加者



A	協同油脂株式会社	営業第一部 部長	渡辺 一彦 氏
B	協同油脂株式会社	営業第一部 主任	伊藤 裕二 氏
C	住友金属工業株式会社	総務部 次長	芳賀 律 氏
D	住友金属工業株式会社	薄板営業部 薄板輸出室 課長	足立 匡 氏
E	日亜化学工業株式会社	第二部門 生産本部 副本部長	赤木 正雄 氏
F	日亜化学工業株式会社	第二部門 営業本部 名古屋営業部 第一課 係長	小暮 展靖 氏
G	株式会社フジクラ	コーポレート企画室 副室長	瀧本 英樹 氏
H	株式会社フジクラ	電子・電装営業第一部 係長	和佐 篤史 氏
I	富士プリント工業株式会社	取締役 事業本部 本部長	富田 教幸 氏
J	富士プリント工業株式会社	事業本部 本社事業部 営業1課 1係 係長	島上 守 氏
K	ポーライト株式会社	総務部 総務課 課長	大嶋 伸吉 氏
L	ポーライト株式会社	営業部 熊谷営業所 所長	長谷川 武 氏
M	ミネベア株式会社	常務執行役員 財務・コンプライアンス推進部門担当	今仲 政幸 氏
N	ミネベア株式会社	常務執行役員 調達・物流部門担当	相場 高志 氏
O	ミネベア株式会社	調達・物流部門 資材部長	岩谷 守 氏
P	ミネベア株式会社	CSR推進室 室長	石河 正樹 氏
Q	ミネベア株式会社	CSR推進室	小林 秀紀 氏
R	株式会社クラン	CSRコンサルタント	水上 武彦 氏

よう、よく考えてよく働こう、そして世界一の製品を創ろう]を行動指針に、「日本でのものづくり」にこだわり続けてきました。「取引先に愛されない会社は持続しない」をモットーに、「協力企業や地域周辺企業と共に発展していく」ことを目指しています。

ポーライト(大嶋氏) ポーライトは今年の創業60周年を機に、社員行動指針とポーライト行動憲章を策定しました。ただ、本業を通じての社会貢献には力を入れているものの、それにプラスして何ができるかについては人的、資金的な制約があること、また海外での事業展開も進めていますので、海外に同じ行動憲章を持っていけるのかという議論もあって、まだ社外に配布する段階には至っていません。

富士プリント工業(富田氏) 私たち富士プリント工業も2011年5月に新たに経営理念を策定しましたので、それを全うすることで社会的責任を果たしていこうと考えています。また、ステークホルダーごとに目標を定めるとともに、コミュニケーションの重要性を強く認識しています。例えば、お取引先様に関しても懇親会などを定期的に行うとともに、主要10社様には株主にもなっていただいで、ご意見を経営に生かしています。



富士プリント工業 富田氏

水上 ステークホルダーごとの目標実現に向け、CSR推進委員会などの組織は特に置かれていないのでしょうか。

富士プリント工業(富田氏) 置いていません。ただ、毎年年度初めに行う「方針説明会」では、今年度のグループごとのCSR方針について、社長と私、それから各グループ責任者が宣言を行います。その後も毎月の月次会議で、取り組みの進捗状況と今後について報告するなど、CSRを経営課題と位置付けて取り組むことで、PDCAサイクルの実

現を目指しています。

住友金属工業(芳賀氏) 住友金属工業では、2010年に社長をトップとするCSR委員会を設置しました。2011年3月には企業理念を制定するとともに、企業行動規範も改定して社内およびグループ内への浸透を図っているところです。技術、品質、サービス、そしてCSRの面からも当社の価値を高めて、社会から信頼される会社となるために取り組みを進めていきたいと考えています。

水上 委員会設置には何かきっかけはあったのですか。

住友金属工業(芳賀氏) 特にありませんが、総務部として「せつかくさまざまな分野でCSRに取り組んでいるのに、その全体像が社内あるいは社外に見えていない、社としてきちんと取り組むべきだ」と提案しました。

フジクラ(瀧本氏) フジクラも、2009年にあらためてCSRの取り組み体制を整備しました。社長を責任者とするCSR委員会を立ち上げ、その下部組織として「経営」「社会」「環境」の3つのワーキングチームを設置。各グループがそれぞれ3年ごとに重点方策を策定し、各部門とグループ会社の推進チームの双方向で情報をやりとりしながら取り組みを進めています。

水上 こちらは何か、体制整備のきっかけは。

フジクラ(瀧本氏) お客様からのCSRに関するアンケート回答の要請が年30件ほど来るのですが、きちんとした体制がないので答えられないということが重なって。「体制整備して本格的に取り組むべき時期だ」という認識を持ちました。

ミネベア(今仲) 委員会には専任の方はいらっしゃるのですか。

フジクラ(瀧本氏) 環境部門は専任の者がいます。社会、経営については私が統括しています。

ミネベアのCSR調達ガイドラインについて

水上 では、ミネベアのCSR調達ガイドラインについてのご意見、ご質問を頂きたいと思います。

日亜化学工業(赤木氏) 従来の基本方針であった「法令の遵守」「公平・公正」なども、広い意味ではCSRに含まれるかと思うのですが、それと今回のガイドラインとは位置付けは違うのでしょうか。

ミネベア(岩谷) おっしゃるとおり、従来の基本方針に含まれる部分もあるのですが、今回は「労働」「安全衛生」などのCSRの4項目にあらためてフォーカスしたという形です。



ポーライト 大嶋氏

ポーライト(大嶋氏) 弊社自身はこの内容であれば対応可能ですし、一次のお取引先様についてはある程度まで確認できると思います。しかしその先の二次三次となってくるとなかなか難しい部分がある。どこまで対応の必要があるのかというのを教えていただきたいですね。

富士プリント工業(富田氏) 同様の問題は私たちも感じます。特に規模の小さいお取引先様になると、管理そのものはできていても文書化、記録化がされていないところが多い。報告書を出してもらうのも難しい状況で、どう進めていけばいいのか…。

ミネベア(相場) それについては、我々ミネベアも同じ悩みを持っています。二次三次まで深く入って確認するのは非常に難しいし、特に海外のお取引先様への指導はなかなか困難です。ただ、「じゃあ無理だからやらない」というのではなく、ガイドラインについて少しでも理解を深めていただき、同じ方向に向かって一緒にやっということを伝えたい。そこから徐々に理解を広げていっていただければと思っています。

日亜化学工業(赤木氏) その際に、ISOなどへの取り組みの一部にあるように「計画を立てる、記録を取る」ことそのものが目的になって形骸化しないようにしたいですね。言葉は悪いけれど各社の自己満足で終わらないように、どの部分が足りないのか、どの部分に取り組むべきなのかを常に考えながら進めていく必要があると思います。

水上 CSR調達について、かなり進んだ取り組みをされているとお聞きしているのがフジクラ様なのですが、今お話に出ました、二次三次のお取引先様や海外のお取引先様についてはどのように対応されていますか。

フジクラ(瀧本氏) もともと、当社が本格的にCSR調達に

取り組み始めたきっかけが、タイの二次お取引先様の運営状況がCSRの観点から問題があるということで、現地NPOの立ち入り調査を受けたことなんです。これまで我々としては、自分たちが十分CSRを徹底できているわけでもないのに、お取引先様にお願いするのはどうかという思いもあったのですが、基本的な姿勢だけでも示して、必要なことは要請していかないといつまでも変わらないと考えるようになりました。



フジクラ 瀧本氏

そこでまず、2010年には国内の全お取引先様にCSR調達に関するアンケート調査を実施しました。海外のお取引先様については、翌2011年度に実施する予定でしたが、タイの洪水被害のため中止になってしまいました。体制が整い次第再度進めていきたいと考えています。

ミネベア(小林) 国内、海外、それぞれ対象は何社くらいですか。

フジクラ(瀧本氏) 国内は約500社。海外は何段階かに分けて実施予定で、第一段階で300社くらいを考えていました。

水上 結果はいかがでしたか。

フジクラ(瀧本氏) もちろん非常に高評価のお取引先様もありましたが、そうでないところがあったのも事実です。それについては、あらためてヒアリングをするとともに、場合によっては直接伺うということも考えています。

ミネベア(今仲) やはりアンケートは大事ですね。配布することで、受け取ったお取引先様にCSR調達について考えていただく機会をつくることができますし、我々も海外のお取引先様を含めて、まずアンケートを実施するのが出発点かなと思います。

ミネベアに期待すること

水上 今後、ガイドラインに沿ってCSR調達を実現していくために、ミネベアに期待したいことなどはいかがでしょう。

ポーライト(大嶋氏) 例えば化学物質規制などについて、規模の小さいお取引先様には正式な証明書の提出を求めにくい場合がありますので、零細企業についてはこういった形の証明でも大丈夫だという提示があれば助かりますね。また、お取引先様に対してどういう指導をすればうまくいくのかといったアドバイスも頂ければと思います。



ダイアログの様子

協同油脂(渡辺氏) 特に海外のお取引先様では、化学物質の使用などについて問い合わせても「公開しない」という回答が来ることも多いということもご理解いただきたいです。また、数値データなどを提出しなくてはならない場合は、どうしても分析費用などが発生しますから、それについてもご考慮いただければ大変ありがたいです。



協同油脂 渡辺氏

富士プリント工業(富田氏) 今日のように直接顔を合わせる機会をつくっていただける、それだけでこの後のやりやすさがまったく違うと感ずます。我々も、いきなり全お取引先様は無理でも、幾つかの会社を対象にこうした機会をつくって、それを徐々に全体に波及させていくなど、「人と人とのつながり」で前進していくような形を考えたいですね。

フジクラ(瀧本氏) 先進的な取り組みを進めておられる企業さんのお話を聞くことで、たくさんあるテーマの中から「まずこれに取り組むべきではないか」ということも見えてくるので、その意味でもこうした場をつくっていただけるのはありがたいです。



日亜化学工業 赤木氏

日亜化学工業(赤木氏) 今日の話の中でも出たように、社外からの要請は会社を動かす大きなきっかけになりますので、アンケートはぜひやっていただきたい。また、特に我々は「日本でのものづくり」にこだわるあまり、海外での経験や知見が弱い部分がありますので、海外でのCSR展開、指導についても提言を頂ければと思います。

住友金属工業(芳賀氏) アンケート実施に当たっては、結果をぜひ各社にフィードバックいただきたいですね。「他社に比べてここがまだ足りない」といったことを指摘頂ければ、社内でCSR調達を推進していく上での大きな力にもなると思いますので。



住友金属工業 芳賀氏

水上 各社のご意見からも、顧客とお取引先様とのコミ

ュニケーションの重要性を強く感じますね。住友金属工業様は、「社協一体」という理念を掲げて、その辺りに非常に力を入れられているとお聞きしましたが。

住友金属工業(芳賀氏) コンプライアンスや安全管理、品質管理などのさまざまな活動について、協力会社の皆様と一体となって進めています。同じ場所で同じように取り組みをしながら、共にレベルアップしていこうという考え方で。

また、当社で製造した鋼材が実際に使用されるお客様のところを、製鉄所のベテラン社員が定期的に訪問して、きちんと一定の品質のものが納入されているかなどを確認し、お客様の声を製鉄所にフィードバックする「品質巡回」という取り組みも続けています。

おわりに—CSR調達とは何か

水上 CSRとは、企業としてステークホルダーから信頼を得る活動で、一義的には、事業を通じて社会に不利益を及ぼさないことです。近年は、CSRとして自社の影響力が及ぶサプライチェーンにおける責任を果たすことが世界的な共通認識となっています。CSR調達とは、まずは顧客とお取引先様が協力して、サプライチェーン全体で社会に対して不利益を及ぼさないように活動することですが、今日のお話から、顧客とお取引先様が相互に利益の出る関係となり、サプライチェーン全体で社会に価値を生み出していくことの重要性を感じました。

その推進に向けて、最後にミネベアから一言お願いいたします。

ミネベア(相場) 本日頂いたご意見、ご要望をこれからの生産、調達活動に反映させ、また皆様とさらなる飛躍をしていきたいと思ひます。昨今は特に、レアアース(希土類元素)の調達問題もますますクローズアップされていますし、そ



ミネベア 相場

うした状況にも対応しながら、我々もしっかりと社会的責任を果たしていきます。本日はありがとうございました。